

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 多機能型事業所 Uru

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		広さは十分であるが、体を動かす活動等においては柱があり危険を伴うことがあるとの意見がありました。柱へのカバーを検討いたします。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	なるべく1対1の支援ができるように配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	住居を利用しているので構造化された環境(個別等)を作るのに工夫しながら行っている。	・室内はバリアフリーに近い状態ではありません。来所時に階段の昇降しますので必要に応じて対応していきます。 ・トイレ、手洗い場の導線も分かりやすく児童が戸惑わずにスムーズに使用できている。また、床等もバリアフリー化されていてほとんど段差も無く、歩行しやすく適切に配慮されているが柱が危な面もある。とのご意見をいただきました。住居を利用している為柱の撤去等が難しい為保護カバー等の検討をいたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	日頃より清潔に立つことを心がけ掃除を実施している。	・トイレに関して、便座を消毒できるスプレー等の設置をにご意見をいただき、児童の手の届かない所に設置するよう検討いたします。 ・活動しやすいう、広いスペースは確保できているが、周りがきになり、落ち着かない様子がみられる場面もあるとのご意見をいただきました。パーテーション等を設置できるように検討いたします。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	普段より業務改善を図る為職員の意見を取り入れながら運営している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		ホームページ等にて公開できるのか職員が把握できていないとの意見をいただきました。ホームページが新設したりと移動があった為再度周知共有いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		現在第三者評価を受けておりません。検討いたします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	8	必要な研修に参加できるように時間を設けております。また、積極的に研修への参加を促しています。	研修の機会が設けられたらと意見をいただきました。年度途中での入職等に対応いなかった為適宜研修参加の計画を検討していきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	定期的な面談と実施し、アセスメントを適切に実施している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		職員自身が細かく状況を把握できているとは言えないと言えんをいただきました。今後は、専用のアセスメントツールを見直し全職員が細かく把握できるように務めます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		相談支援員の作成する利用計画に沿って支援計画を作成している。個人の計画なのでその中に家族支援や地域支援の項目までは(必ずといって)入れてはなかった。また、事業所での個人の計画なので利用計画以外にそこまで入れないといけないうのが理解として追いついていないと意見をいただきました。家族支援や地域支援をどこまで記載するかを検討し全職員での共有を検討いたします。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	○月の計画書を作成し、把握し利用児童に合わせた状況で無理なく進めている。 ○個別課題に取り組み、特異な事を活かしながら苦手な事に対しても支援の仕方を日々考え工夫している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	計画を立案する際には職員で話し合いながら立てている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・曜日によって利用児童が変わるので満遍なく様々な経験ができるよう都度考え取り組んでいる ・多様なプログラムを用意し、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	・日ごとに活動内容を変え週ごとに主で活動を進めていく担当を変えて固定化しないようにしているとのご意見をいただきました。引き続き固定化しないよう努めてまいります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0	・個別活動と集団活動を組み合わせ作成している。・同じ経験を繰り返しながら変化をつけていく工夫をしている。	・毎日、集団活動に入る前に、個別活動を取り入れ個々の支援に合った活動や遊びが行えるよう考慮し進めている。とのご意見をいただきました。仰せの通り利用児童の支援内容に合わせて個別活動を変え支援を続けていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・必要な物や配置を伝え合い、臨機応変に対応している。	・必ず活動内容を支援員間で確認し役割分担をしながら進めていくようにしている。 ・活動内容の検討や方法、説明の仕方など支援前に打ち合わせをし、写真をとって全員へ共有する等の工夫を行っている。のご意見をいただきました。引き続き支援開始前に打ち合わせできる時間を設けていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・毎回必ずというわけではないが、状況等に応じて全員での共有を図っている ・記録の際児童の変化点や支援方法の評価点等のやり取りを毎回できている。 ・日々の様子の中で状況説明等をし次に活かせるよう工夫している。	・送迎時間等もあり、全員揃うことが難しい日もありますが職員間でなるべく情報共有を実施しています。引き続き継続してまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・連絡帳もしくは、経過記録にて記録を残している。 ・個別活動では、1対1でじっくりと関りながらすすめていくために細やかに記録をしている。	・なるべく、支援員それぞれが活動内容や様子を把握しタブレットやパソコン等に入力できるようにしている。とのご意見をいただきました。業務を効率化し検証改善の時間がとれるように日々努力しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		・支援員、専門職のそれぞれの意見も聞きモニタリングを行い、一人一人に合った支援内容を全員が把握できるようにしている。とのご意見をいただきました。送迎等もあり思うように時間が取れないなかですが全職員が共有し定期的にモニタリングができるよう努めてまいります。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		情報提供の仕方が難しいと意見をいただきました。支援内容を送迎の際に伝えられる様検討いたします。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	必要に応じて担当者会議等を通じ情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		どこまで研修等へ行っているか把握しきれていない。と意見をいただきました。他事業所との連携が図れる様検討いたします。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	利用児は併行通園をしている為改めて時間を設けることは考えていない。	特別時間をとつての交流はない。利用児は全員(現在通所されている方)は保育所(園)等に通っているため交流は設けていない。と意見をいただきました。仰せの様に併行通園の方のみですので普段より地域の方と交流があるため時間を設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		職員自身が参加できていない。との意見をいただきました。事業所としても参加ができておらず、会に参加したいが代表のみが参加している現状の為参加がかなわない現状です。開けた会になるように市町村へ検討していただきたいと思ひます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳やLINEにて状況等を伝えている。また、定期的に面談を実施し家庭の状況や事業所での様子を伝えている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	ペアレントトレーニングまでは支援ができないが、保護者の方からいただくご相談はケースごとに検討し家族支援を実施しています。	相談としての助言等は行っているが、ペアレントトレーニングまでの支援は行っていない。の意見をいただきました。事業所営業時間等の考慮をするとペアレントトレーニングを実施するのは難しい為保護者の方が受けられるよう研修等を案内できるよう検討していきます。	
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	常に丁寧な説明を心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・電話や連絡帳にて悩み等の助言を行っています。 ・相談があった場合は、必要に応じて個別に対応できています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1		保護者会等の発足はしていないが参観日を設け保護者同士の交流の場を設けることはある。とのご意見をいただき、保護者同士の交流の場を設け連携できる場を設定していくことを検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		